

1. 科目名 (単位数)	日本の文化と言語 I (2単位)	3. 科目番号	GECM1717 GECM1117 GECM1727 GECM1317
2. 授業担当教員	古田 高史		5. 開講学期
4. 授業形態	講義、ペアワーク、グループディスカッション		
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	この授業は、本学で学ぼうとする留学生の日本語運用能力のレベルアップと日本の文化や言語についての理解をより一層深めることを目的としています。日本の文化や言語についての理解を深めるため、日本で暮らす様々な人々、文化や社会的な問題に関する資料と読み物を教材として用い、身近な問題を通して、段階的に日本の文化や言語の多様な側面について学んでいきます。本講義は、資料の読解、発表とディスカッション、作文、そして語彙・文法に関する小テスト等で構成されます。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語の運用能力を一段階上へあげ、日本文化・言語に関する理解を深める。</li> <li>2. 日本語で書かれた身近な問題を扱う資料を正確に理解し、自分の言葉で要約できるようになる。</li> <li>3. 身近な問題について、議論を進めるために適切な質問ができるようになる。</li> <li>4. 身近な問題について、日本語での口頭発表を行う能力を養う。</li> <li>5. 身近な問題について、自分とは異なる文化背景を持つ人たちと協働して作業ができるようになる。</li> </ol>		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の多言語状況について、自分の立場から説明できるようになるために、発表を行う。</li> <li>2. 日本の多言語状況を踏まえた、日本語教育に対応するための基礎を築くために、各回で取り組んだテーマのなかから一つを選び、指導案を作成する。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	柿原武史・上村圭介・長谷川由起子『今そこにある多言語なニッポン』くろしお出版、2020。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語の運用能力を一段階上へあげ、日本文化・言語に関する理解を深めることができたか。</li> <li>2. 日本語で書かれた身近な問題を扱う資料を正確に理解し、自分の言葉で要約できるようになったか。</li> <li>3. 身近な問題について、議論を進めるために適切な質問ができるようになったか。</li> <li>4. 身近な問題について、日本語での口頭発表を行う能力を養うことができたか。</li> <li>5. 身近な問題について、自分とは異なる文化背景を持つ人たちと協働して作業ができるようになったか。</li> </ol> <p>○評定の方法：以下の点を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への参加態度 総合点の30%</li> <li>2. 試験 (小テスト・期末試験、口頭発表による試験等) 総合点の30%</li> <li>3. 提出課題 (レポート等) 総合点の40%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>日本語教育には、生活者、留学生、児童生徒、就労、難民など、その対象は多様である。日本語教育を志す者として、この授業を多言語な日本文化や社会の状況に目を向けるきっかけとしてほしい。アサシメント及びレポートについては、受講生の関心や状況に応じて、扱うテーマや分量などの調整を行う場合がある。授業担当教員の指示に従って取り組んでほしい。</p> <p>なお、受講に際して、特に以下の点には注意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 欠席、遅刻、早退など (不必要な退出も含む) せず、積極的に参加すること。</li> <li>2. 提出物、宿題は必ず提出すること。</li> <li>3. 授業での配布物はなくさないこと。</li> <li>4. 教科書は毎回必ず持参すること。</li> <li>5. 分からないことは、担当教員に必ず質問、確認をすること。</li> <li>6. 授業に関係のない私語はしないこと。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業概要の説明、まえがき	事前学習	教科書の pp.1-3 を読んでおく。
		事後学習	教科書 p.3 を読んで、考えたことを書き出してみる。
第2回	序章 今、そこにある多言語な世界	事前学習	教科書の pp.5-9 を読み、ニッポンの言語の多様性を理解しておく。
		事後学習	教科書 p.8 を踏まえて、「多言語」についてまとめてみる。
第3回	第1章 イスラム横丁とコプト正教会から見る多言語な日常 はじめに 東京のイスラム横丁	事前学習	教科書 pp.13-20 を読み、東京のイスラム横丁について説明してみる。
		事後学習	教科書 pp.13-20 を踏まえ、東京のイスラム横丁での「多言語な日常」をまとめてみる。
第4回	第1章 イスラム横丁とコプト正教会から見る多言語な日常 京都のコプト正教会	事前学習	教科書 pp.20-25 を読み、京都のコプト正教会について説明してみる。
		事後学習	教科書 pp.20-25 を踏まえ、京都のコプト正教会での「多言語な日常」をまとめてみる。
第5回	第1章 イスラム横丁とコプト正教会から見る多言語な日常 おわりに 発表① 日本にある外国人コミュニティについて	事前学習	教科書 p.25 を踏まえて、日本にある外国人コミュニティについて調べてみる。
		事後学習	発表①について今後の課題を書き出してみる。

第6回	第2章 日本人の手を離れるニホンゴ はじめに 非母語話者同士の「第三者場面」 「カップ麺のお水はいかがですか」	事前学習	教科書 pp.27-30 を読み、「第三者場面」について説明してみる。
		事後学習	教科書 pp.29-30 を踏まえ、「カップ麺のお水はいかがですか」という言い方についての考えをまとめてみる。
第7回	第2章 日本人の手を離れるニホンゴ 日本人の手を離れるニホンゴ ニホンゴでお互いに話す外国人 プライベートな領域でも使われるニホンゴ	事前学習	教科書 pp.30-33 を読み、「共通語」について説明してみる。
		事後学習	教科書 pp.32-33 を踏まえ、日本に住む外国人同士のコミュニケーションについてまとめてみる。
第8回	第2章 日本人の手を離れるニホンゴ 海を越えて交わされる新年メッセージ 外国人を結びつける言語としてのニホンゴ それなら、日本語だけで十分なのは？ おわりに	事前学習	教科書 pp.33-37 を読み、「共通語としてのニホンゴ」について整理してみる。
		事後学習	教科書 pp.35-37 を踏まえ、日本人が相手の「外国語」を学ぶ意義をまとめてみる。
第9回	第3章 LINE スタンプが拓く多言語社会 はじめに 多言語学習ツールとしての LINE スタンプ	事前学習	教科書 pp.39-44 を読み、「多言語スタンプ」について説明してみる。
		事後学習	教科書 pp.40-44 を踏まえ、多言語学習ツールとしての LINE スタンプの特徴をまとめてみる。
第10回	第3章 LINE スタンプが拓く多言語社会 留学生と日本人学生の LINE コミュニケーション	事前学習	教科書 pp.44-47 を読み、留学生と日本人学生の LINE コミュニケーションについて説明してみる。
		事後学習	教科書 pp.46-47 の LINE 会話例を読んで分かることを書き出してみる。
第11回	第3章 LINE スタンプが拓く多言語社会 多言語学習の新しい学びかたへ おわりに	事前学習	教科書 pp.47-51 を読み、新しい多言語学習のあり方を説明してみる。
		事後学習	教科書 pp.50-51 を踏まえ、多言語スタンプのメリット/デメリットを整理してみる。
第12回	第4章 気づけばクラスメートは「外国人」 エピソード1-高校進学を希望するAさん-	事前学習	教科書 pp.56-60 を読み、エピソード1の概要をまとめてみる。
		事後学習	教科書 pp.56-60 を踏まえ、Aさんへの日本語指導について考えたことを書き出してみる。
第13回	第4章 気づけばクラスメートは「外国人」 エピソード2-さまざまな国から来た外国人の子どもたちの転入-	事前学習	教科書を pp.60-62 を読み、エピソード2の概要をまとめてみる。
		事後学習	教科書 pp.60-62 を踏まえ、外国人の子どもに必要な支援を考えてみる。
第14回	第4章 気づけばクラスメートは「外国人」 おわりに 発表② 外国にルーツを持つ子どもへの支援案	事前学習	教科書 pp.63-65 を読み、外国にルーツを持つ子どもへの支援案をまとめてみる。
		事後学習	発表②について今後の課題を書き出してみる。
第15回	第5章 語学学校などで学べるいろいろな言語 はじめに 調査の前提と方法 取り上げた機関とその所在地 取り上げた機関と開講言語一覧	事前学習	教科書 pp.67-76 を読み、語学学校などで学べるいろいろな言語を整理してみる。
		事後学習	教科書 pp.67-76 を踏まえ、興味を持った言語を調べてみる。
第16回	第5章 語学学校などで学べるいろいろな言語 分類別に見た機関の特徴 取り上げられている言語の数や種類 学校教育以外の機関が果たしている教養の役割	事前学習	教科書 pp.77-86 を読み、語学学校などの特徴をまとめてみる。
		事後学習	教科書 pp.84-86 を踏まえ、言語学習の意義についての考えをまとめてみる。
第17回	中間テスト 第1章から第5章の振り返り	事前学習	教科書 pp.13-86 を読み直し、ニッポンの多言語状況を整理しておく。
		事後学習	教科書 pp.13-86 を踏まえ、今後の課題を書き出してみる。
第18回	第6章 外国人観光客への真の「おもてなし」 はじめに 世界的観光都市-京都の困惑-	事前学習	教科書 pp.89-93 を読み、訪日外国人観光客について説明してみる。
		事後学習	教科書 pp.91-93 を踏まえ、京都の事例について考えたことをまとめてみる。
第19回	第6章 外国人観光客への真の「おもてなし」 佐賀とタイ-攻めで結んだ縁- 国境の国-対馬-	事前学習	教科書 pp.93-96 を読み、佐賀と対馬の事例の概要を説明してみる。
		事後学習	教科書 pp.93-96 を踏まえ、佐賀と対馬の事例から考えたことをまとめてみる。

第20回	第6章 外国人観光客への真の「おもてなし」 増加率が世界一！ -大阪の人気は抜群- 大阪は「受け入れる」だけじゃない 100でなくても0よりは1-まずは始めよう- おわりに	事前学習	教科書 pp.96-101 を読み、を読み、大阪の事例の概要を説明してみる。
		事後学習	教科書 p.101 を踏まえ、「おもてなし」についての考えをまとめてみる。
第21回	第7章 地方自治体のホームページから見る多言語対応 はじめに ホームページでの多言語による情報発信	事前学習	教科書 pp.104-106 を読み、多言語による情報発信について説明できるようにしておく。
		事後学習	教科書 pp.104-106 を踏まえ、多言語による情報発信の状況を整理してみる。
第22回	第7章 地方自治体のホームページから見る多言語対応 HPの多言語対応の方式 HPの多言語対応の創意工夫	事前学習	教科書 pp.106-114 を読み、HPの多言語対応の方法を整理してみる。
		事後学習	教科書 pp.113-114 を踏まえ、HPの多言語対応の工夫をまとめてみる。
第23回	第7章 地方自治体のホームページから見る多言語対応 HP以外の多言語対応 HPの多言語対応の課題 おわりに	事前学習	教科書 pp.114-117 を読み、在留外国人に対する多言語対応について整理してみる。
		事後学習	教科書 pp.115-117 を踏まえ、多言語対応の課題をまとめてみる。
第24回	第8章 「やさしい日本語」は多文化共生の橋渡し役 はじめに 「やさしい日本語」のレベルと特徴	事前学習	教科書 pp.119-122 を読み、「やさしい日本語」の特徴について調べてみる。
		事後学習	教科書 p.122 のA(普通の日本語)とB(「やさしい日本語」)の違いを書き出してみる。
第25回	第8章 「やさしい日本語」は多文化共生の橋渡し役 自治体などで広がる「やさしい日本語」	事前学習	教科書 pp.122-128 を読み、自治体などで広がる「やさしい日本語」について説明してみる。
		事後学習	教科書 pp.122-128 を踏まえ、自治体による「やさしい日本語」について、自治体のホームページを調べてみる。
第26回	第8章 「やさしい日本語」は多文化共生の橋渡し役 緊急時の「やさしい日本語」から平時の「やさしい日本語」へ 「やさしい日本語」をめぐる課題と「やさしい日本語」の展望 おわりに	事前学習	教科書 pp.129-135 を読み、平時の「やさしい日本語」について説明してみる。
		事後学習	教科書 p.132 を踏まえ、「やさしい日本語」をめぐる課題を書き出してみる。
第27回	第9章 コリア系住民の歴史から学ぶ日本の未来へのヒント はじめに 「コリア系住民」という呼称 コリア系住民が日本に多く暮らす理由	事前学習	教科書 pp.137-141 を読み、コリア系住民について説明できるようにしておく。
		事後学習	教科書 pp.140-141 を踏まえ、コリア系住民が日本に多く暮らす理由をまとめてみる。
第28回	第9章 コリア系住民の歴史から学ぶ日本の未来へのヒント 日本と「難民」 激しい差別と世代間の苦悩 親の願いと民族教育	事前学習	教科書 pp.141-146 を読み、「難民」について説明できるようにしておく。
		事後学習	教科書 p.145 を踏まえ、「学習権」について説明してみる。
第29回	第9章 コリア系住民の歴史から学ぶ日本の未来へのヒント 21世紀の民間交流と外交関係 出身国のことば/外国語としてのコリア語 おわりに	事前学習	教科書 146-151 を読み、21世紀の民間交流と外交関係について整理してみる。
		事後学習	教科書 150-151 を踏まえ、外国語や異文化を学ぶ意義についての考えをまとめてみる。
第30回	確認テスト 第6章から第9章の振り返り	事前学習	教科書 pp.87-151 を読み直し、日本社会の多言語対応の状況を振り返っておく。
		事後学習	この授業を通して理解を深めることが出来た多言語なニッポンについてレポートを作成してみる。